

- 赤十字有功会10周年記念・不耕起……………2
- 玉松台スポーツガーデンから……………3
- 各課から……………4~5
- 保健コーナー……………6
- 川柳北緯41° / 民生課……………7
- 特別寄稿・危険が待つ海路……………8
- 行事予定 / み〜つけた……………9
- けっばる蓬田人 / 戸籍の窓口……………10

広報

よもぎた



6/5 イワナ放流広瀬川

イワナ放流! もう川を汚さない!!

7月
1992

友の夏帽が新らしい
海に行こうか
放哉

今、好きな津軽弁に「のめくる」「ばぐる」「すげね」「そきばる」がある。文法をきちんと分かっていたら、これらの言葉がどうして出来たのか探ることが可能だと思いが、あいにくと心得ない。でも、興味はつきない。

「のめくる」は、「転ぶ」「つまづく」の意だろう。
「ばぐる」は、「交換する」「すげね」は、「淋しい」「そきばる」は、「突っ張る」だ。

今の中年あたりは、日常会話が津軽弁そのものだが、中学生・高校生はどうなのだろう。この地に根ざした言葉をよく使えないのではなからうか。取り越し苦労だとは思いますが、その内に、中央公民館で「津軽弁話し方講座」なんてのが開かれる時代が来るかも知れない。

不耕起農法で田植え!

中沢農事研究会が実施

五月二十七日(水)、中沢研究田において中沢農事研究会(坂本太会長)が、村農業協同組合及び県経済連の協力を得てトラクターでは場を耕さずに田植えをする不耕起農法を行いました。

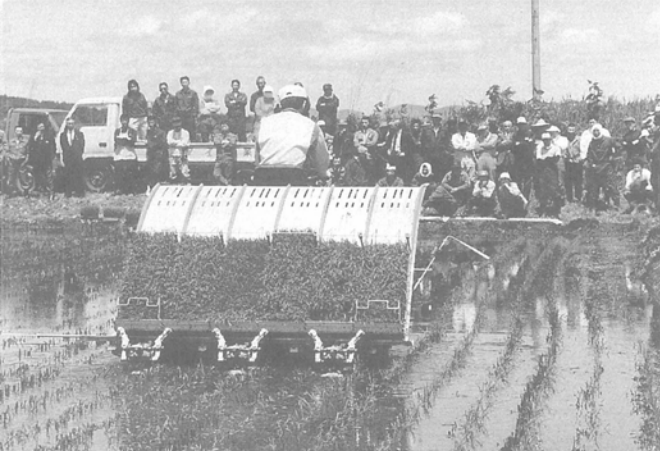
実施に先立ち工藤文義農業協同組合長から「農産物輸入化等農業を取り巻く情勢は厳しいが、不耕起農法のねらいはコスト低減省力化にある。今後も調査研究を進めて行き

たい」とあいさつ。続いて青森地区農業改良普及所の坂岡主幹から、田植えまでの、ほ場整備の作業経過について説明がありました。

田植え作業は、農業関係者およそ二百名が見守る中、スムーズに行われました。

作業終了後、坂本太会長は「津軽方面では、比較的良い結果が出ているが、ここは東風地帯、活着まで水をいれないので苗の保温をどうするか、それに浮き苗も気になる」と話していました。

東青地区では、初めてというこの不耕起農法。農家の期待は大きい。



ローターで土を柔らかくする

村赤十字有功会 10周年を祝う



六月十二日(金)、玉松公民館において村赤十字有功会(坂本孫九郎会長、会員四十七名)は、設立十周年に当たり記念式典を開催しました。

式典には関係者等八十名が出席、まず物故者に対して全員が黙祷、君が代を斉唱、続いて赤十字の旗を斉唱、坂本孫九郎会長が「昭和五十七年に県下で本会が一はやく設立し分区の支援団体として活動、当時はまったく手探りの状況で、日赤県支部と関係各位のご支援ご協力のもと今日を迎えることができたことは、万感胸に迫る思いがする。今後も人道博愛の精神のもとに涵養と実践に努めます」と式辞を述べ、分区長の八戸良次郎村長が「日頃から日赤事業推進では常に目標達成など多大のご協力と、支援に心からお礼申し上げる」とあいさつした後、坂本会長が会の設立に功績のあった渡辺昭一郎(青森市)田中勝家(蓬田村)の両氏に



感謝状を贈り労を称えました。また記念事業として「人道博愛」と書かれた扁額を村内公共施設へ贈呈、代表して奈良尹教育長に手渡しました。

日赤青森県支部の齋藤健事務局長と日赤青森県有功会の北村幸子会長、清水信造村議会議長が来賓として「県下市町村のトップをきって設立され、幾多の苦難をのりこえ十年を迎えたことは、会員皆様方のたゆまざるご苦勞の賜であり、お喜びと感謝の念を申し上げる」とお祝いのことばがあり、今後の発展を期して万歳を三唱、式典を閉じました。懇談会ではこれまでの苦勞話などを語り合っていました。

工事がすすむ 玉松台スポーツガーデン

平成5年3月完成予定



りっぱなスコアボード



両翼97Mは県内一広い

待
望
の
野
球
場



整備されたゲートボール場2面



フェンス張りのテニスコート2面

万が一に備え浮き輪を取り付ける

青少年育成蓬田村民会議

六月十日(水)、青少年育成蓬田村民会議(工藤義則会長)は、郷沢にある蓬田漁港の防波堤に救助用の浮き輪を十五個取り付けました。

休日となると大勢の釣人で賑わう漁港は、子供たちの遊び場でもあります。万が一、海に転落した場合は大人でも這上がれる箇所がないことに気が付き対策を講じたものです。

作業は、ヤマセで小雨まじりの寒い日に行われまし



いろいろな山野草覚えたよ 黒滝も見たよ

山野草教室で



六月七日(日)、中央公民館が主催する山野草教室が開かれ村内外から二十五人が参加しました。

午前九時三十分、JR瀬辺地駅前に集合し、自家用車で瀬辺地開拓の奥地まで移動。まず、越田公民館長補佐が講師の齋藤信夫先生を紹介し、日程と諸注意の後、一行は「黒滝」へ。

遊歩道に見られるクサギの花、ホオの木、オニグルミ、沢グルミなど色とりどりに咲いている植物を観察、説明を受けながら散策しました。参加者は普段見慣れているが名前を知らず、聞いては繰り返し

し繰り返し暗唱してました。途中で手作りの弁当を広げて昼食休憩後、沢歩きを約三十分ぐらいい。ようやく「黒滝」

へ着き、滝の水しぶきで清々しい気分と、自然の素晴らしさを満喫した様子。滝をバツクに代わる代わる記念写真におさめていました。

帰りのリュックの中身は、季節の野菜でいっぱい。往復約4kmの野山を散策した参加者は一歳半の幼児から六十六歳まで、自然の中での山野草教室はめったにない機会、続けてほしいと好評でした。全員が無事完歩、楽しい一日を過ごし終了しました。

石田さん保護司に



石田孝信(広瀬、楽宝寺住職)さんに、法務大臣より五月二十五日付けで保護司が発令されました。

石田さんは、地域において保護観察対象者の更生を助けるための指導監督並びに犯罪予防活動等に携わっていただくことになっています。

7月26日(日)は
参議院議員通常選挙
投票日です。

大切な一票をムダにしない
ように

第43回東郡中体連夏季大会

野球・卓球女子団体優勝！

蓬田中学校

六月十八日(木)～十九日(金)平内町を主会場に第43回東郡中体連夏季大会が行われました。

戦い、三対〇、準決勝小湊中と七対四、決勝では、平館中と六対〇と勝利し二年連続優勝を成し遂げました。

蓬田中学校からは、陸上(男女)、卓球(男女)、バスケットボール(女子)、野球・庭球(男子)競技に出場し野球、卓球女子団体が見事優勝しました。

卓球女子団体は、予選アロックから決勝トーナメントへと順調に勝ち進み、準決勝で小湊中と対戦し三対〇、決勝では西平内中と対戦し三対一と優勝を決めました。

また、他の競技でも個人戦では活躍した選手がたくさんおり、県大会の出場権を獲得しています。

県大会は七月二十三日から三日間、弘前市を主会場に行われます。村民の方々のご声援をお願いします。



六月二十一日(月)、青森銀行従業員組合の代表が役場を訪れ、防犯に役立てて下さいと八戸村長に防犯灯を贈呈しました。

村では、明るく住みよい村づくりの一貫として毎年防犯灯を設置して来ました。現在四〇〇個ぐらいの防犯灯が村内の隅々に設置されていますが、近年とくに新しく道路が整備され、防犯上、また交通事故防止上、必要な所がまだ



青森銀行従業員組合が防犯灯寄贈

まだあります。寄贈された防犯灯は村内五カ所に設置されます。

あなたも聞いてみませんか

明るい社会づくり 家庭教育講演会



主催 明るい社会づくり東青地区推進会
 日時 平成4年7月22日(水)PM1:00
 場所 蟹田町コミュニティーセンター
 講師 東京家庭教育研究所 丸山貴代先生
 演題 どうしたら、子供に言うことを聞いてもらえるお母さんになれるか。
 交通手段 バスを運行します。

申込みと詳細については、蓬田村教育委員会 社会教育課 ☎27-2111 (内線271) へ

全国人権擁護委員連合会長表彰

小猿さんが選ばれる



小猿柏雄(郷沢)さんが、去る六月三日全国人権擁護委員連合会長表彰を受けました。昭和五十八年から人権擁護委員として、村民の人権擁護と自由人権思想の普及高揚に貢献された功績により、県人権擁護委員連合会総会の席で表彰されました。おめでとございます。

無料

●電話のご相談もお受けします
☎0177-22-1025(直通)

相談日：月曜から金曜午前9時半～12時
午後1時～4時40分(祝祭日を除く)

●専門の相談員が親身になってご相談に応じます
●弁護士相談日：毎月第4水曜日午後1時～4時

交通事故
ご相談

社団法人 日本損害保険協会
青森自動車保険請求相談センター
青森市堤町2-1-7日産火災青森ビル4階
(青森文化会館向い)青森調査事務所 ☎0177-76-4391

骨粗しょう症を防ぎましょう

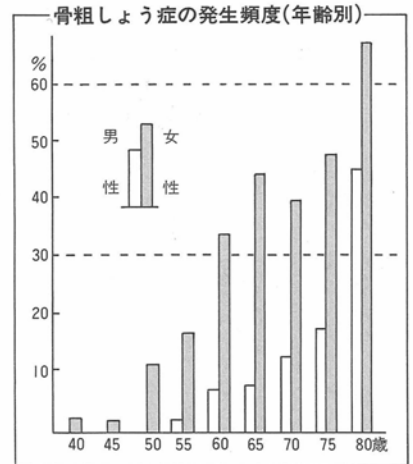
高齢になるほど患者が急増、とくに女性は要注意

●骨粗しょう症とは？

骨粗しょう症とは、血液中のカルシウム不足を補充するために骨のカルシウムが溶け出し、骨の中がスカスカになる病気です。

●寝たきりの原因に

骨粗しょう症は骨の老化やカルシウム不足が主な原因で、高齢になるにつれ発症しやすくなります。ちょっと転んだだけで骨折してしまい、そのまま寝たきりになるケースが多く、骨折は寝たきりの原因の第3位を占めています。



女性は特にご用心！

- 閉経後の女性は、女性ホルモンの減少により、骨の老化が進みやすくなります。現在、60歳以上の女性の4割～7割までが骨粗しょう症で、骨折の件数も男性の2倍といわれています。
- 歳をとって骨がある程度弱くなることはしかたありませんが、心がけしだいで、①加齢による骨量の減少スピードを遅らせ、②骨をじょうぶにすることができます。次の3つのポイントを今から実行しましょう。

骨をパワーアップする3つのポイント

1 カルシウムを上手にとる

牛乳やヨーグルトなど乳製品をたっぷりとる。また小魚や海藻、大豆製品も毎日の食卓に。



2 適度に運動する

からだを動かすことで、骨に刺激を与えることが大切。体操や散歩を日課にしましょう。

3 日光浴をする

日光にあたることは、体内へのカルシウムの吸収をよくするといわれます。とくにお年寄りには、部屋にとじこもりがちになる傾向が。お天気のよい日は積極的に日光浴を！



第2回あおもりシニア洋上セミナーに参加して!

工 藤 太一郎 (蓬田)



・金に縁 無いが幸せ 予沢山
 ・へそくりで 家計簿の穴 そつと埋め
 ・初ボータス 指折りかぜえ 皮算用
 ・月末は 落ちてる紙も 金に見え

ちの子

・賽銭を 貯めて信者が
 ・好い顔を するにはお金
 ・子の食事 金ですませる
 ・真ツすぐな 心も曲がる

鳥居建て 増吉
 ちらつかせ 網枝
 共楡ぎ 昭夫
 札の束 年栄

六月二日から五日まで三泊四日の日程で、船に二泊、ホテルに一泊で計画されたこのセミナーは天候に恵まれたすばらしい研修でした。

シニア洋上セミナーの目的は、長寿社会を明るく活力ある社会づくりのためであり、県内の在住者であり自ら知らない者同志が語り合い、

交流し合う事ができる事でありました。乗船したつぽん丸は、二二、〇〇〇ト全長一六六、四メートル、幅二四メートル、一階から八階まで、定員六〇〇名が乗船できる豪華客船であります。

六月五日(金)八時にホテル出発、バスにて郡山駅へ向かい青森駅へ十五時四十分到着。駅ホームにおいて解団式。参加申込みの時、シニア洋上セミナー参加の目的は交友を深め見聞を広めるために参加したのでありますが、喜寿を迎えてこのシニア洋上セミナーに参加でき、知事の講話と永昌寺住職の講演を聞き、人間一生には見聞交友には限り無い事を今更に痛感し、今後共にこの事業を継続する事をお願いし、我が村からも毎年参加する事によってシニア洋上セミナーの目的が達成される事と思えます。

六月二日(火)午後二時より堤埠頭において受付、三時にメインホールにおいて出航式が行われ、北村知事の挨拶、来賓祝辞と続き、セミナーの講師等の紹介で出航式を終えて一路、東京港晴海埠頭を目指しました。

六月三日(水)団長の講話と永昌寺住職田端義宏氏(鰯ヶ沢町)の「人の寿命は生長期二十歳の五倍寿命を持っている。長寿の秘訣は気力であり又色気もこれ又絶対必要である。人生には余生というものは無く死ぬまで本生である」との講演がありました。

「につぽん丸に二夜を過ごしシニア等は心通いて、旅を楽しむ」この短歌は私の作では無く、その時の同宿の弘前出身者との合作であります。

参加者は団長北村知事以下県財団側四十一名、団員三〇三名でした。

夕食のテーブルを囲んでの対話中、南郡常盤村の方と現在の水田価格は上田で八年前に10万二百五十万円の売買価格が、現在では百二十万円で下がり、それでも買う人がなかなか無い(後継者がいないこと)との事、県内何処でも大同小異の状況であるなあと水田地帯で農業経営をする私等には淋しさを感じた。

満点のアクシオンには本当に楽しめました。二時間の見学後バスにて最後の宿泊である塩原温泉へ向かった。

夏到来、暑い暑い
 なんぼ暑くても
 世の中(田んぼ)えばいい

《特別寄稿》

危険が待つ海路 新天地を求めて海峡を渡る村人

田中蕉山

津軽海峡は魔の海峡

最近東京へ行って驚くのは、妙に曲がりくねった高架道が多い事です。あれは、川だつた所が、道路になつたからだそうです。昔は、川が重要な交通機関だつたのです。所で、我が青森県は三方を海に囲まれ、その向こうに北海道という素晴らしい大地があり、人々はそこに未知なる富を求めて海を越えて渡つたものでした。そこに横たわる津軽海峡、人はそれを「しよつぱい川」と呼んでいました。龍飛から松前へは三筋の大きな潮を越えなければならぬと言われ、それを越えるのは勿論「船」しかなかつたのです。その交通手段としての船は、大変危険でありました。幾多の海難や人々のつらい別れがありました。津軽海峡に流された数知れない人達の涙の跡を追つて見たいと思います。

瓊江丸・三吉丸衝突事件

明治二十四年七月十一日午前二時三十分頃、津軽海峡海三吉丸で福山へ上陸したとある間に、函館港を發し岩内港へ向かつて、更に函館港へ帰ろうとする瓊江丸と、函館港より小樽港へ向かう三吉丸が衝突、瓊江丸は沈没。三百二十人の中六十三人は無事に他の二百五十七名は生死不明。この内死体の漂着したも

ロシア商船衝突事件

明治三十七年ロシアに宣戦布告する前年の明治三十六年十月三十日。これも、津軽海峡恵山岬沖で発生しました。室蘭直航の郵船会社定期船東海丸（一一二一トン）は、青森港を出港し室蘭へ向かう

だ乗船名簿というものを理解できなかったのか、名簿と実際に乗つた人の名前が合わない苦勞したようです。それと、東海丸は沈没したが、残つたゾログレス号の東海丸乗客に対する救助の様子があまり協力的でなかつた事や、東

大雪の中の惨劇

明治四十一年三月七日、青森県下に春には稀な大雪が降りました。積雪一尺八寸七分。現在のようないない除雪の設備等がないので、大雪は即交通途絶となり、人々は、大雪に驚くと共に何か災いがなければと、天や神仏に祈つたものでした。

折しも三月二十三日午前二時三十分、北海道恵山沖樞法華村沖合いで死亡者二百九名という海の大惨事が起きました。陸奥丸（九一五トン）は青森から室蘭に向けて、又秀吉丸（六四六トン）は、室蘭方面より函館に航行中。午前二時三十分頃秀吉丸の船首は陸奥丸の右舷艦部を突破して大破孔を生ぜしめ猛烈な浸水の結果わずか二十分程で船体は船部を上直立し、そのまま沈没。衝突の轟然たる音と振動に驚いた乗客が甲板に出る間もあらばこそ、落下す

海丸の久田船長が乗客全員をポートへ乗り移らせた効もなく、目前にポートが転覆するのを見て自ら死を決し船橋から分かれを告げ、非常の笛を鳴らしつつ船と運命を共にした事が長く人々の噂に残つたようでした。

る錨その他の重器物にぶれ、肉裂け、骨砕けて死亡した者も多く、その惨状は目も当てられぬ有り様。この際「秀吉丸」がとつた行動は、後々までも人々に非難されました。それは、衝突した時二艘の船はくつついていて、陸奥丸丹羽事務員が秀吉丸に飛び移り、秀吉丸船長に現状のままに長く両船を離さないで船客の救助に尽力することを求めたのに、無情にも陸奥丸から引き離れ、為に大破孔より瀧の流れるように海水が陸奥丸を包み込み、五十度以上に直立、一転沈下。哀れ青森湾頭に親しまれた陸奥丸は多数の乗客と共に海上より姿を永久に消してしまつたのです。

津軽海峡を照らした月光のみこの寒天に輝き、今も濃い海霧が海で死んだ人達の魂を弔うごとく洋上に漂っている。

私からあなたへ3

みかみ・けいこ 三上 慶子・中沢

仕事を第一に考えています

余暇を大切に

今回は、三上慶子（中沢）さんの登場です。
三上さんは、三年前に農業協同組合を退職し、現在は家の農・漁業に従事しており「経験のない仕事なので最初は、体がいうことを利かなくて…今だに船酔いするんです



※次回登場予定者は、佐藤和子さんです。

ヨ。船が走ってる時はいいけど、止って仕事することが苦手なんです」と、はにかみながら話してくれました。「今は、仕事を第一に考えています。慣れること、覚えること。だって周りの友達みんなが一生懸命なんだから」と、頼もしい言葉を聞くことができました。

クッション物を好むので一緒に見ていますが、本当は、愛をテーマにしたラブストーリーが最高と言います。
中学生時代バレーボール選手として、県大会3位という実績を持つ三上さんは、体育協会バレーボール部に所属し活躍しています。七月五日に行われる県民体育大会予選に向けて、今年こそは「県大会に行こう」を合い言葉に、家事、子育ての傍ら練習に励んでいます。

余暇を大切にしたいという三上さんの楽しみは、家族ぐるみで付き合う友人達と行く年一回の一泊家族旅行と、時々この友人達と近くの飲食店で語らうこと。そして、暇を見つけては旦那さんとビデオレンタルに行ったり借りてくるビデオとCDの鑑賞。旦那さんがア

子どもは、琢義君（小学校一年生）と、博俊君（四才）の男の子二人。今年の冬からは、家族でスキーにも挑戦してみたいと言います。
朝は四時前に起床。漁業と農業とに励み、明るく楽しい家庭づくりに夢を膨らませ、まず仕事第一と胸を張る三上さんです。

7月行事予定表

日	行	事	担
30	ワープロ教室		中央公民館
29	東郡議員スポーツ大会		東郡議長会
28	リーダーキャンプ	(30日十三湖)	中央公民館
26	参議院選挙投票日		選挙管理委員会
23	県中体連夏季大会	(25日弘前市)	中学校
23	小・中 夏季休業		小・中学校
23	ワープロ教室		中央公民館
19	村子供会国際交流	(三沢市米軍基地)	村子連
18	玉松海水浴場開き		観光協会
16	ワープロ教室		中央公民館
16	玉松清掃(高齢者)		中央公民館
9	人権相談	(中央公民館10時~13時)	民生課
9	ワープロ教室		中央公民館
9	村老人スポーツ大会		民生課
5	県民体育大会郡予選	ママさんバレーボール(三厩村)	体育協会
2	ワープロ教室		中央公民館



この看板は、大倉岳登山口に作られた大倉岳・赤倉岳の登山道案内板です。

青森地域広域事務組合が観光案内として昨年、村内3ヶ所(玉松台・大館遺跡)に設置しました。

みくつけた 53

けつばる蓬田人

④

ふんわりは遠くであらう

東北電力(株)本店経理部

予算課 主査

吉崎純

一さん

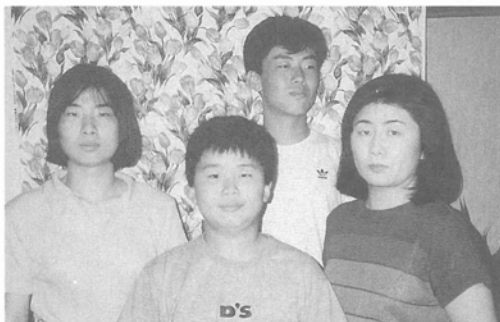


村民の皆さん、こんにちは。高校卒業と同時に東北電力に入社し、蓬田を離れて二十三年、青森を離れて十四年になります。毎年二回程度は帰省し、また同じ東北管内ということで、故郷から離れている感じがしないのが実感です。ましてや、電気を通じて皆さ

らのご家庭とつながっていることを考えるとなおさらです。さて、私が勤めている東北電力は、ご存知のとおり新潟県を含む東北七県で、社員一三〇〇〇余名がそれぞれの立場で、電気の安定供給と地域繁栄への奉仕を合言葉に仕事を進めており、私は本店において予算関係の業務を担当しております。一兆円を超える収入があるとはいえ、そのほとんどはお客様からいただいたものであることから、予算の策定にあたっては、公益事業としての役割の発揮と電気料

金の長期安定を命題として取り組んでおります。毎年一月～三月には、予算要求部門との調整を行っており、仕事が夜遅くまで続く毎日でありますので健康が第一であります。いま改めて、健康な体に育ててくれた親と、蓬田の自然に感謝し、経営の中枢で働く喜びを感じながら、充実した日々を過ごしております。

時代の変化とともに、蓬田村も近代化し、着実に発展していると実感しているところであり、村民の皆様の創意工夫をお祈り申し上げます。



戸籍の窓



人口と世帯数 (5月30日現在)

総人口 4,059人
男 1,937人
女 2,122人
世帯数 1,054世帯

5月受付分

お誕生おめでとうございます

八幡 和真 (久雄 里美) 2 男
小野 雄大 (孝 真智子) 2 男
細谷 菜摘 (聡 眞弓) 長 女

ご結婚おめでとうございます

(久慈 卓美 (広 瀬)
藤田 弓子 (青森市)

おくやみ申し上げます

佐々木 辰雄 (蓬 田75歳)
越 田 文明 (瀬辺地67歳)
八 幡 敏春 (蓬 田35歳)

めも

▶ 現住所 / 仙台市若林区木ノ下5丁目7の30の305 ☎022-283-0506
▶ 生年月日 / 昭和25年9月16日 / ▶ 出身 / 蓬田 ▶ 妻・裕見子・長女・麻里子(高2)・長男・圭介(中3)・二男・孝樹(小5) ▶ 好きなもの / スポーツ観戦 ▶ 経歴 / 青森市立第一高校卒(昭和44年3月) / 東北電力入社(昭和44年4月) / 五所川原、弘前、青森の各営業所勤務 / 本店経理部(昭和53年)山形営業所(昭和63年) / 本店経理部(平成3年)～現在に至る。